

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立大月小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成 15 年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第 1 学年から英会話学習を行うことにより、ALT との会話に興味をもち、楽しむことができた。簡単な英語を聞いたり、英語の歌やゲームに取り組んだりすることで基礎的なコミュニケーション能力を育む姿が見られた。
- ・昇降口に英語による曜日や天気を掲示することで、日常的に英語を目にすることができた。また、ALT が休み時間や下校時にも率先して児童と関わろうとする姿が見られ、児童は自然な形で英語に関わることができた。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- ・学校評価では 89% の児童が英会話学習に楽しんで取り組んでいると回答しており、意欲の高さがうかがえた。
- ・ALT とのやり取りを繰り返す中で、英会話学習に興味をもち、楽しみながら取り組んでいた。

＜保護者＞

- ・第1学年からの英会話学習は、歌やゲームを取り入れながら英会話に親しみ、コミュニケーション能力が身についているように感じる。
- ・ハロウィンやクリスマスなどの行事では、他国の文化に触れることで、興味をもって学習に取り組み、他の国々に目を向ける機会を設けることができた。

3. 実施の効果及び課題

- ・第1学年から英会話学習に取り組んでいることで、日常的に英語に親しみ、楽しみながら活動に取り組もうとする様子が見られる。
- ・英会話学習に苦手意識をもつ児童も見られるため、興味をもって学習に取り組めるよう工夫する。

4. 課題の改善のための取組の方向性

成長とともに、コミュニケーションを取ることにのちずかしさも芽生えてくる。そのため、第1学年から英語に慣れ親しみ、日常的に英語に触れることはとても大切であると考え。学年をまたいで、繰り返し単語や英文等を活用しながら授業を進め、授業外でもALTとの自然な関わりをもてる場を設定したい。